

## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 JQ  
 コード番号 6257 URL <http://www.fujimarukun.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫 (TEL) 06-6949-0323  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,504	△49.7	△636	—	△585	—	△390	—
22年3月期第1四半期	8,962	87.7	1,217	—	1,272	—	830	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△1,533	21	—	—
22年3月期第1四半期	3,257	43	—	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	49,337		42,119		85.4	165,203	95
22年3月期	56,900		43,096		75.7	169,033	77

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 42,119百万円 22年3月期 43,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	2,250	00	—	—	2,250	00	4,500	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	2,250	00	—	—	2,250	00	4,500	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	16,000	△23.5	500	△81.3	550	△80.1	330	△82.4	1,294	35
通期	42,700	△7.5	4,800	3.1	4,900	7.5	3,000	28.6	11,766	78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	254,955株	22年3月期	254,955株
23年3月期1Q	一株	22年3月期	一株
23年3月期1Q	254,955株	22年3月期1Q	254,955株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料] 2 ページから 3 ページの「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、様々な経済政策などにより、個人消費の持ち直しや企業収益の改善が見られたものの、完全失業率は高水準で推移しており、依然として厳しい状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、パチンコ遊技機を中心に低貸玉営業が広く定着し、稼働を重視した営業が継続しております。また、パチスロ遊技機におきましても一部の人気機種が牽引役となり、パチンコホールでの稼働状況に回復の兆しが見え始めております。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機では、前事業年度に引き続き集客力の維持・拡大が期待できる有力機種に需要が集中するとともに、パチスロ遊技機につきましては、主に豊かなゲーム性を備えた機種に注目が集まりました。

このような状況のもと当社は、著作権や演出、ゲーム構成など、長期間の稼働を実現する要素の追求とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。パチンコ遊技機につきましては、著名著作権とのタイアップ機種のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプなど、3機種を追加販売し、販売台数の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高45億4百万円（対前年同期比49.7%減）、営業損失6億36百万円（前年同期は営業利益12億17百万円）、経常損失5億85百万円（前年同期は経常利益12億72百万円）、四半期純損失3億90百万円（前年同期は四半期純利益8億30百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

#### （パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、アメリカのSFコメディ映画をモチーフにしました「CRゴーストバスターズ」シリーズ（平成22年4月発売）のほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプなど（CRA宇宙戦艦ヤマト3・CR相川七瀬 時空の翼・CRレーザーシャトル）を発売いたしました。

以上の結果、販売台数は14千台（対前年同期比58.6%減）、売上高45億4百万円（同48.3%減）となりました。

#### （パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、当第1四半期につきましては新機種の発売はありませんでした。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ75億63百万円減少し、493億37百万円となりました。

これは主に前渡金が5億29百万円増加したのに対し、現金及び預金が29億24百万円、受取手形及び売掛金が51億84百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ65億86百万円減少し、72億18百万円となりました。

これは主に買掛金が44億10百万円、未払法人税等が13億16百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ9億76百万円減少し、421億19百万円となりました。

これは主に利益剰余金の減少などであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ29億24百万円減少し234億74百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、23億33百万円（前年同期は19億97百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、売上債権の減少51億84百万円などが増加の要因であり、税引前四半期純損失6億11百万円、仕入債務の減少45億71百万円、法人税等の支払13億40百万円、未払金の減少9億5百万円などが減少の要因であります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、62百万円（前年同期は7億80百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還等による収入7億円などが増加の要因であり、有価証券取得による支出4億99百万円、有形固定資産の取得による支出1億91百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億28百万円（前年同期は5億85百万円の資金の減少）となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高、損益ともに、ほぼ計画どおりに推移いたしました。

現在、第2四半期に販売を開始いたしました「CR霸王信長」シリーズおよび「CR勇者ライディーン」シリーズにつきまして、鋭意販売活動を推進しております。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月13日発表の業績予想に変更ありません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業損失および経常損失はそれぞれ1百万円増加し、税引前四半期純損失は44百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は71百万円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,474	26,398
受取手形及び売掛金	3,139	8,324
有価証券	1,703	1,704
商品及び製品	4	68
原材料及び貯蔵品	2,862	3,011
前渡金	2,165	1,635
繰延税金資産	1,855	1,563
その他	119	87
貸倒引当金	△14	△38
流動資産合計	35,311	42,755
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,366	2,369
機械及び装置（純額）	705	771
工具、器具及び備品（純額）	1,059	957
土地	4,362	4,362
その他（純額）	115	115
有形固定資産合計	8,608	8,575
無形固定資産		
投資その他の資産	177	178
長期前払費用	2,864	2,836
その他	2,632	2,811
貸倒引当金	△256	△257
投資その他の資産合計	5,240	5,391
固定資産合計	14,026	14,145
資産合計	49,337	56,900

（単位：百万円）

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,870	8,280
未払法人税等	106	1,423
未払消費税等	28	18
賞与引当金	177	296
役員賞与引当金	—	100
その他	1,552	2,193
流動負債合計	5,736	12,312
固定負債		
退職給付引当金	713	731
その他	768	760
固定負債合計	1,482	1,492
負債合計	7,218	13,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	35,584	36,549
株主資本合計	42,124	43,088
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	7
評価・換算差額等合計	△4	7
純資産合計	42,119	43,096
負債純資産合計	49,337	56,900

(2) 四半期損益計算書  
 (第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,962	4,504
売上原価	4,562	2,983
売上総利益	4,400	1,520
販売費及び一般管理費	3,182	2,156
営業利益又は営業損失(△)	1,217	△636
営業外収益		
受取賃貸料	20	18
利用分量配当金	14	16
受取ロイヤリティー	22	16
その他	14	19
営業外収益合計	72	71
営業外費用		
シンジケートローン手数料	8	8
賃貸収入原価	6	6
ゴルフ会員権評価損	—	4
その他	2	0
営業外費用合計	17	20
経常利益又は経常損失(△)	1,272	△585
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	16	24
特別利益合計	16	24
特別損失		
固定資産除却損	4	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	43
特別損失合計	4	50
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,285	△611
法人税、住民税及び事業税	268	55
法人税等調整額	186	△275
法人税等合計	454	△220
四半期純利益又は四半期純損失(△)	830	△390



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 （△）	1,285	△611
減価償却費	492	382
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14	△24
賞与引当金の増減額（△は減少）	△230	△118
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△180	△100
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12	△18
受取利息及び受取配当金	△10	△9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	43
固定資産売却損益（△は益）	—	△0
固定資産除却損	4	7
売上債権の増減額（△は増加）	1,165	5,184
たな卸資産の増減額（△は増加）	△852	212
長期前払費用の増減額（△は増加）	75	△51
仕入債務の増減額（△は減少）	△458	△4,571
未払金の増減額（△は減少）	△460	△905
未払消費税等の増減額（△は減少）	△306	9
その他	209	△435
小計	731	△1,005
利息及び配当金の受取額	10	12
法人税等の支払額	△2,740	△1,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△2,333
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△502	△499
有価証券の償還による収入	500	700
有形固定資産の取得による支出	△774	△191
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△4	△21
投資有価証券の取得による支出	—	△50
その他の支出	△1	△1
その他の収入	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△780	△62
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△585	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585	△528
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,363	△2,924
現金及び現金同等物の期首残高	26,190	26,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,827	23,474

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。